



1-1 建物概要			1-2 外観		
建物名称	荏田北111⑤ No.1	仕様等の確定状況	建物の仕様 持ち込み家電等 外構の仕様	一部確定 確定 仮	
竣工年月	2018年2月	竣工			
建設地	横浜市青葉区荏田北一丁目11-32	<備考>			
用途地域	第一種低層住居専用 6地域				
省エネルギー地域区分	6地域				
構造・構法	木造/在来工法	確定			
階数	地上2階建て				
敷地面積	127 m ²	確定	評価の実施日	2017年12月6日	
建築面積	50 m ²	確定	作成者	清水 勝	
延床面積	98 m ²	確定	確認日	2017年12月6日	
世帯人数	4	仮	確認者	清水 勝	

2-1 戸建の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.9 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆ ☆☆☆☆☆

~0% ☆☆☆☆☆ ~50% ☆☆☆☆☆ ~75% ☆☆☆ ☆ ~100% ☆☆ 100%超 ☆

戸建標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	87%
③上記+②以外の	87%
④上記+	87%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な住宅（参照値）と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q2 長く使い続ける

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

Q1のスコア = 3.4

暑さ・寒さ	3.1
健康と安全・安心	3.5
明るさ	3.0
静かさ	5.0

Q2 長く使い続ける

Q2のスコア = 4.3

長寿命に対する基本性能	4.5
維持管理	5.0
機能性	3.5

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

Q3のスコア = 2.8

まちなみ・景観への配慮	3.0
生物環境の保全と創出	1.0
地域の安全・安心	5.0
地域の資源の活用と住文化の継承	3.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギーと水を大切に使う

LR1のスコア = 4.2

総合的な省エネ	4.3
水の節約	4.5
維持管理と運用の工夫	3.5

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

LR2のスコア = 4.0

省資源・廃棄物抑制に役立つ材料の採用	3.4
生産・施工段階における廃棄物削減	5.0
リサイクルの促進	5.0

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

LR3のスコア = 2.5

地球温暖化への配慮	3.5
地域環境への配慮	2.0
周辺環境への配慮	2.0

3 設計上の配慮事項		その他
総合 耐震等級3、省エネルギー等級4を満たして、環境性能を高めている。また、長期優良住宅の認定も取得し、将来にわたり安心してお住まいいただける住宅としている。		
Q1 室内環境を快適・健康・安心にする 全てのガラス面に遮熱 LOW-Eガラスを採用し、断熱等性能等級4、一次エネルギー消費量等級5を取得することによって、快適に過ごせるよう、配慮している。また、玄関2ロック、窓サッシ補助錠付きとすることで、安心して過ごせるよう、配慮している。	Q2 長く使い続ける 劣化等級3を満たすよう、耐用年数の長い建材を選定している。また、維持管理のしやすいように外配管設計とし、定期的メンテナンスを行えるよう、配慮している。	Q3 まちなみ・生態系を豊かにする 建物の高さ、形状、色彩を統一し、街並みの調和を図っている。
LR1 エネルギーと水を大切に使う 節湯型機器を台所、浴室に、食器洗浄機を台所に設置し、トイレの便器に節水型便器を使用することで、省エネに配慮している。	LR2 資源を大切に使いゴミを減らす 外装、内装、外構の一部にリユース材を使用している。また、パワースタイルを採用することで、プレカット時のロスを軽減している。	LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

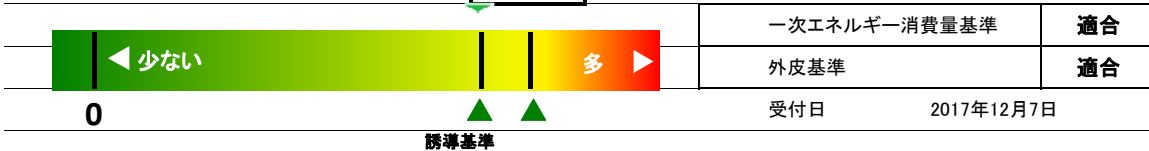
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①～)を示し記述してください。

建物名称 荏田北111⑤ No.1

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)

この建物の設計一次エネルギー消費量 12 %削減



■エネルギーを大切に使う (①建物の工夫 ②設備の性能 ③維持管理と運用)

- ① BEIが0.9以下
- ② 電気便座 多段階評価3つ星以上、ガスコンロ省エネ基準達成率100%以上
- ③ 取り扱い説明書+かしこい住まい方ガイドを説明する

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 5

■室内環境対策 (④暑さ・寒さ)

◆断熱等性能等級 等級4 (相当)

④省エネルギー等級4を取得・全てのガラス面に遮熱LOW-Eガラスを採用(日射侵入率0.40)

■室内環境を快適・健康・安心にする (⑤健康と安全・安心)

- ⑤ホルムアルデヒド対策等級3を満たしている・玄関2ロック+窓サッシ補助錠付としている。
- ⑤玄関2ロック+窓サッシ補助錠付としている

■その他の対策 (⑥自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 あり

⑥主要な居室において、二方向に開口部がある。または一方向開口でも通風・排除を促進する取組みがなされている。

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 5

■災害に備える (⑦災害に備える ⑧長寿命に対する基本性能 ⑨地域の安全・安心)

- ⑧劣化対策等級3を満たしている・サイディング金物工法を採用。耐用年数は約40年
コロニアル葺きとしています。耐用年数30年・耐火等級(開口部以外)等級3を満たしている
長期優良住宅の定期点検計画、住宅履歴システム(プロパティオン)登録
- ⑨敷地内通路500mm以上確保、境界部を軽量フェンス(添付資料参照)

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■まちなみ・生態系を豊かにする (⑩まちなみ・景観への配慮 ⑪生物環境の創出)

- ⑩建物高さ、形状、色彩を統一して全体調和に配慮し、室外機は道路から目隠し

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入